



品川女子学院
図書室発行 181号
2019/2月号

話題の本をチェック！

「最近読む本が見つからないなあ〜」という方に、話題の本をご紹介します！
こういったところから読む本を探していくのも楽しいですよ。



■センター試験で出題された作品

どの文章が出されるのか、毎年注目されているセンター試験、国語の問題。
5年生のみなさんはセンター同日体験で解いたのですが、覚えていますか？
記憶の新しいうちに読み直してみるのもいいですね。

- 第1問：「翻訳をめぐる七つの非実践的な断章」沼野充義：著
- 第2問：『星を撒いた街』上林暁：著/夏葉社



■品女の入試で出題された作品

品女の国語の文章にも注目！
自分たちが受験したときはどんな文章だったのか覚えていますか？
今年はどんな文章が出題されたのでしょうか？図書室になかった本を発注しています。お待ちください！

- 第1回 【評論】『EVと自動運転』鶴原吉郎：著/岩波書店
【小説】『おまじない』西加奈子：著/筑摩書房
- 第2回 【評論】『雑草はなぜそこに生えているのか』稲垣栄洋：著/筑摩書房
【小説】『蕎麦、食べていけ！』江上剛：著/光文社
- 第3回 【評論】『強くなりたいきみへ！』エディー・ジョーンズ：著/講談社

■芥川賞・直木賞

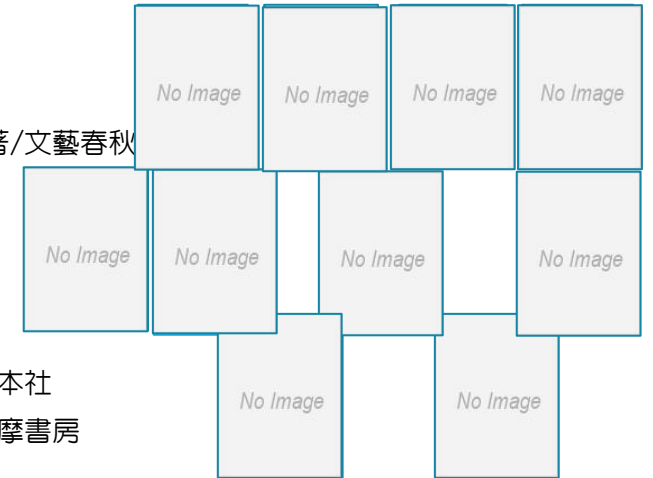
毎回注目される芥川賞と直木賞。
1月16日、2018年下半期（第160回）の芥川賞・直木賞も発表されました！

- 直木賞：『宝島』真藤順丈：著/講談社
- 芥川賞：『ニムロッド』上田岳弘：著/講談社
『1R（いちラウンド）1分34秒』町屋良平：著/新潮社

■本屋大賞

1/22に本屋大賞のノミネート作品が発表されました。
本屋大賞とは、全国の書店員の方が「一番売りたい！」と思った本に投票し、大賞が決まります。今回はノミネート10作品が発表されました。この中から4/9に大賞が発表されます。本屋大賞に選ばれた本は、読みごたえのある作品が揃っています。
大賞が発表されるまえに、全部読んでみて、大賞を予想してみるのもいいですね！

- 『愛なき世界』三浦しをん：著/中央公論新社
- 『ある男』平野啓一郎：著/文藝春秋
- 『さざなみのよる』木皿泉：著/河出書房新社
- 『そして、バトンは渡された』瀬尾まいこ：著/文藝春秋
- 『熱帯』森見登美彦：著/文藝春秋
- 『ひと』小野寺史宜：著/祥伝社
- 『ひとつむぎの手』知念実希人：著/新潮社
- 『火のないところに煙は』芦沢央：著/新潮社
- 『フーガはユーガ』伊坂幸太郎：著/実業之日本社
- 『ベルリンは晴れているか』深緑野分：著/筑摩書房



おはなし まちがい探し
アリとキリギリス

せつせと働くアリをよそに、歌って過
ごしたキリギリス。冬になり、食べ物
もらいにアリを訪ねるのですが……。
下の2枚のイラストには5つのまちがい
があります。いくつ見つけられるかな？

答えは図書室に掲示しています

皆さんご存じ、アリとキリギリスのお話です。内容は覚えていますか???

